

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アセアン地域フォーラム会合経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		担当課室	安全保障政策課	課長 伊澤 修				
会計区分	一般会計	施策名	II-1 国際の平和と安定に対する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アセアン地域フォーラム(ARF)は、アジア太平洋地域における政治・安全保障分野を対象とする全域的な政府間対話の場であり、政治・安全保障問題に関する対話と協力を通じ、地域の安全保障環境を向上させることを目的とする。我が国がARFにおける様々な会合等に積極的に参加することを通じ、域内の信頼醸成をはかるとともに、我が国を含むアジア太平洋地域の平和と安定を確保することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	毎年夏に開催される関係会合(外相会合)に向け、ARFにおける具体的な活動について協議する局長級、課長級会合が開催されるほか、災害救援、テロ対策及び国境を越える犯罪対策、海上安全保障、不拡散・軍縮分野において、ARFでの枠組みでの協力を検討する会期間会合が開催されている。また、予防外交等のARFの活動に関し、専門的見地からの助言・勧告を受けることを目的として専門家／賢人(Experts/Eminent Persons:EPP)登録制度を2001年に導入している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	6	5	4	5		
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	6	5	4	5	5	
	執行額	6	5	5				
執行率(%)	98.3	99.4	107.4					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	【成果目標】 1 政治・安全保障問題に関する協力と対話を通じた、地域の安全保障環境の向上 2 地域内の信頼醸成		成果実績		予防外交の実現に向けた今後のARFの発展を謳った「シンガポール宣言」の採択	2020年のARFの目指すべき姿を取りまとめたARFビジョンステートメントの採択	ARFビジョンステートメントを具体化するための行動計画の採択	
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ASEANの議長国等が開催するARF関連会合への出席回数		活動実績 (当初見込み)		開催された全てのARF関連会合(計3回)に我が国から出席者を派遣している。	開催された全てのARF関連会合(計8回)に我が国から出席者を派遣している。	開催された全てのARF関連会合(計4回)に我が国から出席者を派遣している。	
								(見込み:全ての会合(計8回)に我が国から出席者を派遣)
単位当たりコスト			算出根拠					
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	外国旅費	4,017	3,723					
	文化人等派遣旅費	1,064	1,374					
	計	5,081	5,097					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・用途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	ARF各種会合への参加にあたっては、出張日程をもとに経済的な交通手段の選定を行い、国家公務員等の旅費に関する法律に基づき、各種証拠書類及び領収書を精査し、出張者へ旅費を支給している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>ARFでは、参加国自身を当事者とする問題（朝鮮半島情勢、ミャンマー問題等）を含めて率直な意見交換を行う慣習が生まれつつあるとともに、具体的な信頼醸成措置（年次安保概観ペーパーの提出、各種会合の開催等）が実施されており、参加国間の信頼関係の醸成に大きく貢献している。我が国を含むアジア太平洋地域の平和と安定を確保するためには、右地域における全域的な政治・安全保障に関する対話の枠組みであるARFでの議論に積極的に参画する必要がある。ARFの各種会合への参加は、ARFでの議論をフォローするためにも、また、アジア太平洋地域における我が国のプレゼンスを示す上でも必須であるため、引き続き事業の継続が必要と考える。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

外務省
5百万円

アセアン地域フォーラム(ARF)は、地域の平和と安定のため重要な会議である。我が国としてはARF推進のために主導的役割を果たしていくことが必要であり、関係会合に関連する各種会合に参加する。ARFがその活動に専門的見地から助言・勧告を受けることを目的に導入されたARF・EEP(専門家/賢人)会合に我が国有識者を派遣する

【出張者に直接支出】

A. 出張者11名
4百万円

海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領

【国内有識者に直接支出】

B. 有識者A
0.4百万円

海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.7	—	—
2	出張者B	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.7	—	—
3	出張者C	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.7	—	—
4	出張者D	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.4	—	—
5	出張者E	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—
6	出張者F	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—
7	出張者G	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—
8	出張者H	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—
9	出張者I	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.2	—	—
10	出張者J	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.2	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.4	—	—